

巻末情報ページ

このページは直接学習とは関係ありません。
情報としてお役立てください。

夏期スクーリング期間中の 学内施設の利用時間 44

学習ガイダンスレポート 45

ピアノガイダンスレポート 48

レポート作成の秘訣 50

Webアンケート募集中!

レポート・スクーリング・科目終了試験・ピアノなどについて
様々な声をお聞かせください

アンケート 聖徳大学通信

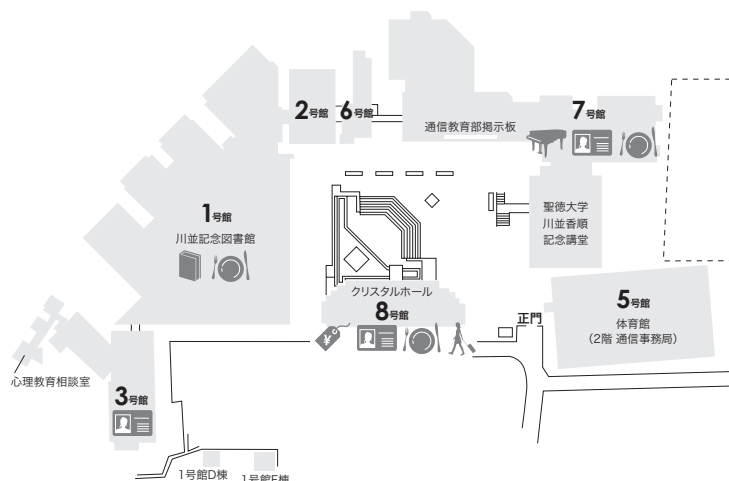
検索



※携帯電話では一部の機種によって表示されない場合があります。



学内施設の利用時間



購買/ジャンティ三越 (8号館2階)



営業時間

8:30～18:00 …… 7月22日(月)～7月26日(金)、
7月29日(月)～8月 2日(金)

8:30～17:00 …… 7月27日(土)
8月 3日(土)～8月10日(土)、
8月19日(月)～8月31日(土)

8:30～16:30 …… 8月12日(月)～8月17日(土)

休業日…………… 7月21日(8:30～16:30) 以外の日曜日

食堂施設



■ レストラン『リリブ』(7号館地下1階)

営業時間

10:30～16:00 …… 7月22日(月)～7月29日(月)の平日

10:30～15:00 …… 7月27日(土)

11:30～13:30 …… 7月30日(火)～8月31日(土)

休業日…………… 8月17日(土)、日曜日

■ レストラン『アミティエ』(8号館3階)

営業時間

11:30～13:30 …… 8月17日(土)

休業日…………… 上記日程以外はすべて休業

■ カフェ『ハーモニー』(8号館1階)

営業時間

10:30～16:00 …… 7月22日(月)～7月29日(月)の平日

10:30～15:00 …… 7月27日(土)

11:30～13:30 …… 7月30日(火)～8月31日(土)

休業日…………… 日曜日

■ サロン『アコール』(7号館8階)

営業時間

10:30～14:00 …… 7月22日(月)～7月29日(月)

11:30～13:30 …… 7月30日(火)～8月 3日(土)

休業日…………… 上記日程以外はすべて休業

■ 学生ホール『リュミエール』(1号館5階)

営業時間

11:00～13:30 …… 7月22日(月)～8月30日(金)の平日

11:30～13:30 …… 7月27日(土)～8月31日(土)の土曜日

休業日…………… 日曜日及び
8月12日(月)～8月17日(土)

チャージ機



場所…………… 3号館7階フロア内廊下、
7号館1階入り口、
8号館2階入り口・3階アミティエ前

利用時間

8:30～21:30 …… 7月21日(日)～8月31日(土)

休業日…………… 7月21日(8:30～16:30) 以外の日曜日

※コピー機の設置場所については、「履修と学習の手引」『学習のしおり』で確認ください。

ツアープランナーオブジャパン クリスタルカウンター(旅行代理店)



■ (株) ツアープランナーオブジャパン

TPJクリスタルカウンター(TEL: 047-360-5911)

営業時間

10:00～17:00 …… 7月22日(月)～8月 2日(金)

12:00～15:00 …… 8月 5日(月)～8月30日(金)

休業日…………… 8月12日(月)～8月15日(木)、土日祝日

上記以外のお問い合わせ

■ (株) ツアープランナーオブジャパン

本社内支店(TEL: 03-3835-4111)

月曜～金曜…………… 9:00～18:00

土曜…………… 9:00～12:00(日・祝日休み)

大盛況

学習ガイダンスレポート

5月12日(日)13:00~17:00

春らしいさわやかな天候の中、4月より学びはじめた新入生の皆さんを中心に、「学習ガイダンス」が

本学(松戸)で開催されました。

今回は200名を超える(大学・短期大学部・科目等履修生図書館司書課程 対象)方が参加され、

教職員、卒業生のアドバイスを真剣に聞き、質問なども多く寄せられました。

～実施スケジュール～

13:00~14:30 ①先生方による「レポートの書き方アドバイス講座」

14:40~15:30 ②先輩からのアドバイス

15:30~16:30 ③職員による「学習の流れ説明」(学科別)

16:30~17:00 ④個別相談

レポートの書き方アドバイス講座① 大学・短期大学部ガイダンス

奥村 高明先生

通信教育部長

■レポートは相手意識を持つ

レポートは作文や感想文ではありません。

自分の中に「他者(読み手)」を立ててみましょう。

＊他者の視点で、何度も読み返しよう1人の自分と「対話」を繰り返す。

＊読み手が苦勞せずにすらすら読める、論旨をつかめることが重要。

■レポートを書き始める前に

逆むけに自分のレポートを書くという方法の例。

「レポート課題」から学習内容や方法を考えてみましょう(重点化、焦点化を図る)。

＊「レポート課題」と学習内容、目標が一致している場合、「レポート課題」と学習内容を読み比べてはじめて分かるようになっている場合がある。

＊テキストはアンダーライン、マーカー、書き込みをたくさんすること。

他の文献にもあたる必要がある。

■ワープロを使いこなす

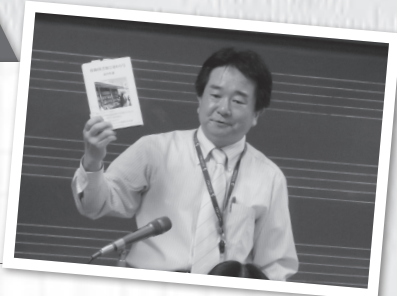
ワープロは、考えるための道具。だんだんと書き進めることができます。

- ・コピー、カット、ペーストが容易で構造を変更しやすい
- ・文末脚注をつけやすい
- ・検索、置換を活用する
- ・番号の自動割り当て機能
- ・ゲージ、図形、図の挿入
- ・ページレイアウト
- ・文字量の計算



山口 洋先生

図書館概論(2011年10月入学以前)(通信)/図書館資料論(通信)/図書館文化史(通信)/
情報サービス論(通信)/情報サービス概説(通信)/図書館サービス特論(スクーリング)/
情報資源概論(通信)/東洋の歴史Ⅰ(通信)/東洋の歴史Ⅱ(通信)/東洋史概説(通信)



■レポートの作成

①課題の把握をする

何を問われているのか？自分の解らないこと、解ることは何か？

つねに「なぜ？」「どうして？」という問いかけをしながら問題に向き合うと問題の所在やレポートのテーマが明確になります。

②文献の収集、読み込み

一つの文献で満足しないこと。複数の文献を読み込む。

対立する意見があるときは、双方を熟読する。

ここでも「なぜ？」「どうして？」という問いかけをしながら進める。

その結果、自分はどの様に考えるか？意見をまとめてみる。

③文章化

＊手書きかワープロか

手書きなら原稿用紙の使い方を確認。ワープロならば書式設定を確認。

＊文章構成を考える

内容に応じて章に分ける。必要に応じて小見出しを付ける。

引用は何をどこにするのか？(必要最小限にする)

＊仕上げ

よく読み返す(誤字脱字のチェック、内容全体のチェック、課題の内容にあっているか？)

④復習

返却されたレポートは講評を読む。赤字訂正などをチェックする。

不合格の場合(学習を深化させるチャンス)、講評や本文赤字の指示を読む。どこが足りないのか？どうすればよいのか？を考える。再度学習し直して、レポートをまとめ直す。

■その他学習を行うにあたって

①学習においてテキスト以外にどのような文献が必要か？

初学者:前川恒雄、石井敦共著『新版 図書館の発見』(NHKブックス、2006)

常時参考:今まどり編著『図書館学基礎資料』(※)第11版(樹村房、2013)

※このような内容が掲載されています。

＊図書館関係の法令(憲法、教育基本法、社会教育法、図書館法など)

＊用語集、略語表

＊各種宣言 1.図書館学の五法則

2.ユネスコ公共図書館宣言

3.図書館の自由に関する宣言

4.図書館員の倫理綱領

5.公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準

6.図書館の権利前言(ALA)

参考:『中小都市における公共図書館の運営』(JLA、1963)→中小レポート

『市民の図書館』(JLA、1970)

②日常から図書館を利用する

借出し、閲覧、レファレンスサービスなどから図書館サービスの実態を知る。

利用者視点と職員の視点を大切に。

③図書館に関する情報に触れながら、図書館を巡る状況について知る。

サービスの在り方、運営の問題、資料提供の問題など

→報道(新聞、テレビ:但し不十分なものがほとんど)

→日本図書館協会のHP(図書館の自由委員会のコーナなど)

→複数文献を読む、講演会、学習会に参加してみる

→最寄りの図書館のHP(図書館協議会の議事録など)

④インターネットの利用

禁止はしないが、お勧めできないこと(ウィキペディア、各種ブログなど)も多い。

情報の正確性を判断し、レポートなどに安易に引用しないこと。

★図書館利用を優先しましょう。その行為自体が学習になり、図書館のイメージ作りとなります。



ピアノガイダンス Report

平成25年5月19日(日) 本学にて、ピアノガイダンスが行われました！

試験・レッスンを担当する教員が、“聖徳ピアノ”をマスターするためのポイントを直接指導。

当日は、大学・短期大学部の学生20名程の方が参加し、熱心に耳を傾けていました。

<プログラム>

第一部 10:30～12:00 「音楽実技Ⅰ」(大学)「音楽Ⅰ」(短大) 課題曲のポイント説明
～アドバンストウ・エチュード、
マーチ(ピアノ・レパートリー)、幼児とともに～

休憩 12:00～13:00

第二部 13:00～14:30 初心者のためのアドバイス指導
学習の進め方、質疑応答



ご担当いただいた 加藤 とも子先生

練習の時には、今日はこれと
できるようになる！と決めましょう。

レッスンは1人20分で3曲までです。
不合格になった曲の復習としても
ぜひ受けてみてください。
根本的な間違いについても
アドバイスをしています。



第一部

● 学習を進める上で皆さんが押さえておくべき大切なこと

- * 試験に対する正しい情報収集
- * 1曲ごと合格のためのポイントを理解し、効率的で賢い練習を実行する
- * 将来の現場をイメージして、実力を高めるよう楽しく学習する

● 基本のエチュード

基本の練習曲で演奏に必要な諸々の要素を練習します。打鍵力をつけ、奏法を整えますが、曲想を付けることでほとんど全てのことが学習できます。心を十分に使って意識してきれいな音で弾きましょう。

基本のエチュードのポイントは次の通りです。

- * 楽譜の通りに正しく弾く(音・リズム・フレーズ等)
- * 奏法が整っている(音階練習で打鍵を整える)⇒結果、音が揃ってきれい
- * 完成している(途中で弾き間違えない・良く弾きこんである)

● マーチ曲

マーチの受験は基本のエチュード2番4番が終わった頃が妥当です。

マーチのポイントは次の通りです。

- * 明るい元気な音質
- * 拍が一定で拍感が感じられる
- * 途中で弾き間違えない(暗譜の問題・完成度)
- * 付点のリズムが弾んでいる
- * 躍動感がある
- * 右手メロディはフレーズを守る(安易にブツブツ切らない)

● 幼児曲

幼児曲を弾くときのポイントは次の通りです。

- * 歌詞や題名からのイメージを大切に曲想豊かに演奏する
- * 歌を生かす速度感と息継ぎをしっかりと意識する(暗譜の場合でも同じ)
- * 弾き歌いは歌が主役、歌詞をはっきり伝える
- * 暗譜は左手をしっかりと覚える

第二部

●学習の進め方

- * バイエルで基礎力を付ける。80番以上からが大切である。最後まで抜かさず練習する。基本知識（語句や記号など）はバイエルでその都度身に付ける。分からない語句や記号を放置せず、すぐに調べる（バイエル冒頭解説を参照）
- * 導入指導を受ける。奏法や練習方法など教師に習って学習の方が効率的である。本学のレッスンを活用する方法も大変よい。最初は毎週手習いすると理想的
- * 練習する時は丁寧な気持ちで必ず目標を持って行う。心を使うことが学習効果を格段に上げる。時間をだらだらと使わない。限定した時間で成果を上げるよう、自分の練習内容を工夫していく
- * 初心者とは導入期間に1年位かけてよい。しかし目標は高く設定する。1年かけて基礎力を十分に付け、次の段階で思い通りに練習効果（受験合格）が出るように自分を育てる
- * 常に現場をイメージして学習する。根本的な目標をしっかりと持つ



●練習の仕方

- * 練習計画を立てる⇒日程を決めそれを細分して本日の分量・内容を決める
- * 毎日練習する。ピアノに触れない日は歌いながら指を動かす
- * 1曲ごとの時間配分を計画する×曲数=1日の練習時間
- * 曲を部分に分けて丁寧に練習する。今日はこの4小節〜というように区切り、徹底練習する。今日のノルマはその日のうちに仕上げる（最初はゆっくりで仕上げる）
- * 片手ずつ、ゆっくり、部分練習が基本⇒難しいところは歌えるようになってから弾くと良い
- * 最初から音を外さない。弾き間違わない。正しい内容（音・リズム・フレーズ他）で練習を積む（大切：自分に課す）
- * リズム、拍（特に伸ばしている音や休止符）は弾いている間ずっと数える⇒勘に頼ってはいけない。その曲の体内時計を作る。拍やリズムが正しく伝わるように弾くことは練習の大きなテーマ
- * 最初から最後まで同じテンポ（等拍）で弾く⇒初心者は途中で拍不足になりやすい（拍やテンポが狂う人が多い）
- * 最初の段階から曲想をイメージする。良い表現を求める事が練習を良い方向へ導く。
曲想を意識することで音を聴く能力が増す
- * 人前で弾く事を想定して、工夫して（考えながら）練習する
☆その他、「基礎力の重要性」や「本学レッスンの活用・受験に関すること」についてもお話をいただきました。

先生からの 応援メッセージ

児童学科 加藤 とも子

通信で学ぶ方は、資格取得を目指して大変意欲的に学習されていると感じています。初心をいつも思い出しながら頑張っていたきたいと思います。

日々忙しい中で学習するので、時間の使い方は大変大切になります。毎日のスケジュールを立て、仕事・家事・育児そして学習の時間配分を自己管理することが必要です。この時間管理が目標達成への鍵かもしれません。そして実行力ですね。自分の将来像をしっかりイメージして学びを進めてください。

何事も基礎が大変重要です。独学では右往左往して大切な時間をロスしてしまいますので、初学时に出来るだけ正しい情報を得て学習すると良いと思います。習得すべき基礎力をしっかり意識して学習します。読譜力・合理的な奏法・練習を組み立てる能力・音を聴く力等です。5月のガイダンスでは心（意識）を十分に使って学習する大切さをお話しました。毎日の学習目

標を的確に持つと、その成果を求めて心（意識）がよく働きます。

初心者は読譜が苦手の様です。読譜力向上のためには、毎日練習する曲を大きな声で歌ってみましょう。この音読（おんどく）が大変重要です。暗譜している曲でも楽譜を見ながらドレミで歌います。できれば一緒に指を大きく動かすと更に効果的です。楽譜とドレミが自然に対応してきますし、歌う事でフレーズ（息使い）もイメージできます。

困難な部分に出会ったら、楽譜をよく見て細分化して丁寧に一つずつ克服する事です。この根気が必要です。焦らず確実に実力を上げましょう。

現場では子どもたちが先生の演奏を聴いて、幸せな気持ちになったり、心豊かになれると良いですね。弾いている人の心の通りに相手に音が伝わります。教育現場や保育現場をイメージして学ぶことはとても大切です。

参加者の声（アンケートより一部抜粋）

大変参考になりました。楽しく、子どもを前にしていることを想定しながら学習していきます。

先生がとても親切に丁寧に教えてくださったので、とても参考になりました。特にポイントの解説、学習の進め方、練習方法など在校生の例をあげてお話してくださいました。

練習しているテンポより、はるかに早くて相当な努力が必要だと思いました。沢山収穫はありましたが、内容のレベルが高いとも感じました。参加してよかったです。

90分あっというまでした。ありがとうございました。

レポート作成の秘訣

「レポートってどうやって書けばいいの?」「レポートは書いてみたけれど…」なかなか合格できずに悩んでいる方へ。

通信教育学務課では卒業生を対象としたアンケートを実施しました。

先輩の意見を参考に、今後の学習に活かしてみたいでしょうか。

心理学科 東京都在住 平成25年3月卒業

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A 通信科目のレポートは、シラバスを良く読み、いくつかのパターンに分けて計画的に取り組みました。①興味があるけど時間のかかりそうなもの。②難しそうでよくわからないもの。③期限が決まっていて焦っているもの。④何となくわかって書けそうなもの。私は③、④を先に①、②は後へ少し時間をかけて書きました。

レポートは、1本仕上げると自信がついて、次へと書いていけました。まずは、③や④あたりでスタートすると思います。特に④を1本仕上げると楽です。③はスクーリング等の関係のものが多いですが、シラバスや教科書をよく読んで進められるといいと思います。

①、②はとにかく時間がかかるので、資料を図書館へ行ったりして集めたり、スクーリングなどで友人からアドバイスをもらったりして仕上げました。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 主婦の私の勉強場所は、市の図書館が主で、資料の収集など、下調べをしました。実際、レポートは家庭で作成しました。家族が家から出ている間は、娘の勉強机を借り、冬場は掘りごたつでした。

集中できるのは、おおよそ1時間から1時間半なので、平日私の場合は、家事が一段落する夕方4時からと、夜9時過ぎが多かったです。

休日は、娘と一緒に机を並べてレポートを仕上げた事もありました。私個人の趣味ですが、バックにクラシック音楽を流して勉強しました。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 認定心理士を申請し、心理相談員の資格を取得するべく調整中です。

保育科 山梨県在住 平成25年3月卒業

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A 行き詰まると本当に暗く長い先のみえないトンネルに入った気持ちになると思います。そういう時は、まず自分だけが経験し苦しいのではなく、通信教育の学生全員が同じ立場に立ち、苦しいということを感じてください。そうした中で皆が乗り越えられたのだから自分も乗り越えてみせる!と岩に爪を立てる思いで孤独ではない、1人ではないことを確信することです。そして、やはり同じ通信教育生の友達をみつけて(勇気を出して)情報交換して助け合うことがベストだと私は思います。私はそうして卒業にたどりつくことができました。そういった意味でもスクーリングや科目終了試験における勇気を出しての声かけはとっても大切です★

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 私はコツコツが苦手です。

頭の中では地道にやるのが良いのがいいことはわかっているけど、またプランを立てていても、なかなかそうはいかず、日々の生活のせいで、どれ位の月日をただただ過ごしてしまったことか。そのため、レポートの締切りや科目終了試験が近くなったら夜中から朝方にかけて猛勉強していました。

テキストを読むことが大半なので、学習場所は布団に入ってうつぶせで上体を起こしてやるが多かったです。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 息子と一緒に医療事務の勉強をしています。合せて地域の手話の勉強会に参加して学んでいます。自身を生涯磨き、少しでも人の役に立つ生き方をしたいです。

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A まず必須なのは、レポート課題に関係なく、テキストを学習指導書とともに最後まで読むことです。細かい所まで理解できなくても、だいたいその講義の概要が理解できます。テキストを読み通した後で、レポート課題にとりかかると、「何が問われているか」に関してはスムーズに入れることと思います。そしてその後、図書館等で課題に関連する書籍をできるだけ多く（最低限でも5冊以上）借り、関連する部分のみでよいので目を通します。そして、テキストと調べた内容をまとめて、レポートを作成していきます。レポートで問われる内容の多くは、基礎的な事が多いのでこれで何とかなるでしょう。気をつけるべきは、レポートが「切り張り」にならないようにすること。専門用語はもちろん使えますが、文章をそのまま使用してはいけません。理解した内容を自分なりの文章の組み立てで表現していくことが必要になります。

Q
どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 上の内容にも重なりますが、効率重視の方で何教科も並行してレポートを作成している人もいます。その方々の中には、テキストを読み通さず、レポート課題のみに答えてとりあえず提出していく…という方法を取られる人もいます。それでレポートに合格すれば御の字、たとえ不合格でも先生からのアドバイスが書かれて戻ってくるので再提出もしやすくなります。確かに短い期間で卒業するには効率的なようですが、「試験」に関してはこれでは不十分でしょう。私個人としては、試験のことや、質の高い学びにしていけるには、あまり同時並行する科目を多くしない方がよいと思います。私の場合は、せいぜい2科目まででレポートを提出し、試験は1回につき1科目で少しずつこなして行きました。時間はかかりますが、効率を重視するのではなく、実力をつけるのならこちらをオススメします。

Q
卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 将来的には、臨床心理士資格を取りたいと思っています。指定大学院に進学するには、まだまだ力不足。長い目で見て（2～3年）受験を考えています。現在は基礎固めのために放送大学大学院の科目履修生になりました。また、並行して、英語の基本からやり直そうと考えています。一步一步地道にやるつもりです。

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A 私がレポートを書く時、まず一番考えた事は、シラバスのレポート課題の設題を読み、出題されている講師の方々が何を求めているかをわかる事でした。それを頭に入れて教科書を読み込みました。教科書を読みながらレポートを書く上で必要な所にラインを入れたり、付箋を貼ったり、役に立ちそうな所を書き出しながら、頭の中でどのような構成で書けばいいのかを考えていくと、読み終えた時には、大体何を書くかができあがっていました。皆様は少なからず社会に出て色々な経験をつんだり、大部分の方は社会福祉の世界で働いた経験のある方が多いと思います。その時の経験や自分ならこうするなどを書けば、ほぼレポートは完成すると思います。絶対書くべきキーワードは国家試験対策の参考書などを参考にすれば、必要最低限は拾えると思います。私達の最終目標は国家試験合格です。入学時から受験勉強が始まっています。レポートもそれを突破する過程としてとらえて、受験対策と平行して行えば、必ず最短で合格できると思います。がんばってください。

Q
どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 私のレポートの書き方は、教科書だけではなく、参考文献もすべて購入し、キーワードはネットなどを使って、何度も読み込む方法です。勉強時間はできるだけ早朝にしていました。だいたい朝5時頃起きて、朝6時から2～3時間、休日で丸一日勉強できるときは、朝6時から夕方5時まで約9～10時間勉強していました。月に3教科のレポートを提出し、3教科の科目終了試験受験するというノルマを課していました。場所は自宅の勉強部屋のみです。最初は一時間も机の前にすわるのは苦痛でしたが、訓練していけば半年位で丸一日すわって勉強できるようになります。勉強する事は大変でおもしろくないものです。でもみんな目標があったり、やりたい事ができるようになるためや、必要な資格を取るために入学されていると思います。私もそうでした。年齢もいっており、余分な時間を使える余裕もなく、最短一発合格が最低条件でした。やりたい事をたくさん我慢してでも、欲しい資格を思えば、1～2年の我慢なんてなんともないはずです。勉強は最終的には自分との戦いであり、最後は自分でコツコツ勉強した者が勝つ。勉強の努力は決してうらぎらない。資格テストは自分との戦いです。強い気持ち、決意があれば必ず突破できます。

Q
卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 社会福祉士の資格をとり、登録証も届きました。具体的にやりたい事のためには、まだまだ色々な経験を磨く事が必要と考え、いかに短時間で相手の考え、思いを聞き出すための訓練として介護保険の認定調査員をしています。30分くらいで質問をして、その方々の困り事を少しでも詳しく、多く聞き出して、文章化しています。これが必ず将来、相談援助にいかされると信じてがんばっています。

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A 通信は独学との戦いです。
しかし、一番の助けとなるのは、教科書やテキストなどよりも、大学の友人達です。
同じ志を持った友人達は、必ず自分の財産となります。
スクーリングを通して、たくさんの友人を作ってください。
お互いの情報を密にすることで、必ず素晴らしいレポートが仕上がることでしょ

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 通信で学んでいる人達は、ほとんどがお仕事をされている方だと思います。
自分も、看護師のお仕事をしながら、通信の学習に取り組んできました。
毎日こつこつと学習をしていくことも、勿論大切だと思います。
しかし、なかなか思う通りに進んでいかないのが、現状ではないでしょうか。
最後まで諦めない強い志と、そして何より楽しんで学習をしていくことです。
自分はモチベーションが高い時を見計らって、一気に片付けていく方法を取り、卒業の切符をつかみました。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 通信の大学で学んでいたことが上司に認められ、現在は看護師のお仕事をしながら、看護部長の秘書をしています。
微力ながらも、病院経営にも携わっております。
毎日がとても充実しており、聖徳大学で学んできたことが、少しずつ活かされております。
自分の将来は、大学院へ進学をして、臨床心理士の資格を取得することです。
自分の夢に向かって、今から少しずつ準備を始めています。
在学生の皆様も、どうぞ頑張ってください。
卒業生の一人として、陰ながら応援しております。

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A 書けない時は、レポート課題を何度も読み返しました。「何を問われているか」ということを知ることで、レポートを書くポイントや学習課題を理解することができました。レポートを書いた後、誰でも良いので相談できる人に、添削をしてもらい、伝えたい内容を整理するといったと思います。自分一人では、見えない部分を指摘してもらえ、よりよいレポートになると思います。
また、学習したことが身につくと思います。
また、図書館などで、科目に関連する本を読みました。編者が違うテーマと同じテーマでもとらえ方が違うので、そこも学習ポイントです。掘り下げていくとさらに、学習を深めることもできます。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 通信科目を終わらせるためには、毎日2時間、確実にテキストを読むよう心がけました。仕事との両立で、「勉強する日、しない日」といったバランスの悪い時間を過ごす時期もありましたが、それでは、モチベーションが下がってしまい、「良くない」と考え直し、定期的にテキストを読む時間をもちました。土・日など仕事が休みの時は、集中して学習するチャンスなので、有効に活用しました。やはり、科目ごとの学習期間を決めて学習することをお勧めします。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 現在は、高校で非常勤講師をしながら、教員採用試験と社会福祉士国家試験の合格へ向け、日々勉強を重ねています。目標が達成できるよう、聖徳のテキストを活用しながら頑張っています。

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A ・質問用紙で先生に問題の意味や意図を質問してみる。
・図書館の書籍やインターネットで調べる。
・何度もレポートを再提出することを恐れない。
・レポート添削の講評欄をよく読解するとよい。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A レポートを書く場所は、姿勢を正せるとか、集中できる自分にあった場所でした。
図書館でレポートを仕上げることも多かったです。
時間がとれない時でも、家族に協力してもらい工夫をして取り組みました。
書けそうな時はとにかく日や時間をあけずに仕上げました。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 卒業した今でもピアノに触れるようにはしています。
コンサートに出かける。通勤中に聞く音楽もピアノ演奏のものが多